

予算特別委員会開催中

25日からはじまった2008年度予算特別委員会は、7局が終わり、あと10局と総合審査です。

現在5人の議員の日本共産党市議団は、質問時間が2局で10分（1日1局の場合は8分）し

かない中、市民の暮らし・福祉の向上を願って、準備・質問に全力投球しています。

みなさんの傍聴は、議員を元気づけてくださいます。多くの方の傍聴を呼びかけます。

予算特別委員会 日程



- | | | |
|----------|-----------|--------|
| 3月3日(月) | 「市民活力推進局」 | |
| | 「教育委員会」 | 関美恵子議員 |
| 3月4日(火) | 「都市経営局」 | 河治民夫議員 |
| 3月5日(水) | 「病院経営局」 | |
| | 「港湾局」 | 中島文雄議員 |
| 3月6日(木) | 「環境創造局」 | 白井正子議員 |
| 3月7日(金) | 「経済観光局」 | |
| | 「都市整備局」 | 関美恵子議員 |
| 3月10日(月) | 「資源循環局」 | |
| | 「行政運営調整局」 | 大貫憲夫議員 |
| 3月19日(水) | 「総合審査」 | 中島文雄議員 |

みなさんの傍聴を、お待ちしております！

道路特定財源・暫定税率の維持などを求める意見書に反対

横浜市議会では21日、道路特定財源・暫定税率の維持などを求める意見書を国へ提出するという議案が提案されました。これは、道路安全管理常任委員会において自民・公明党議員等により提案されたものです。なお、同委員会には日本共産党議員は所属していません。

反対討論を行った中島文雄議員(鶴見区)は、反対理由として、「政府の言いなりになって無駄な道路をつくり続ける“自動装置”の延命に手を貸そうとする」「道路整備が遅れていることを理由にしたり、あたかも道路特定財源の維持や暫定税率の延長がなければ、バリアフリー化や交通安全対策、道路環境の改善など市民要望が実現できな

いことなどを口実にしている」ことから、「高速道路よりも生活道路を優先、大型プロジェクトよりも住民の暮らし・社会保障を優先など、地方自治体と住民が予算の使い方を選択できるように、一般財源化こそ必要ではないか」と問いました。

さらに中島議員は、財政や環境破壊などをかえりみない高速横浜環状道路や、鶴見区でわずか数百メートルの間に都市計画道路の「岸谷生麦線」と「岸谷線」という2本もの鉄道をまたぐ「南北」の道路建設など無駄な計画はやめるべきと、強く求めました。

この意見書の提出議案は、自民・公明党議員ら賛成多数で可決され、国へ提出することになります。